

平成27年度 四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会  
第6回環境部会での質問に対する回答について

第6回環境部会における傍聴者の方々からのご質問についてお答えします。

---

○質問－1

夜間の飛翔軌跡（4/18～19 21:02～3:02）で阿波しらさぎ大橋周辺、特に重要な橋上流のデータがない。なぜ「飛翔するに対するヘッドライトの影響も僅かであると考えられる」と断定できるのか？もっと明確に調査して結果を出してほしい。

◆回答－1

本部会で確認した「夜間走行車両のヘッドライトに伴うシギ・チドリ類への影響に関する検討」は、吉野川渡河橋整備を検討の対象としております。検討の結果、ヘッドライトの光が河口干潟、小松海岸、マリンピア沖洲人工海浜に直接的に照射されにくい結果となり、またレーダーを用いて夜間の飛翔軌跡を調査した結果から、シギ・チドリ類が計画線以外でも多く飛翔している状況であることを確認いたしました。以上の結果から、渡河橋を夜間に走行する車両のヘッドライトの影響は僅かであると本部会で承認されております。しかしながら、ねぐらに直接的な光が届きにくいものの、付近に光が届く可能性があるため、上部工が完成した後に、現地確認していきたいと考えております。

---

○質問－2

今回の環境調査の議論や検討されたことは、最終橋設計にどのように反映されるのですか？具体的におしえてください。

◆回答－2

橋梁設計は、平成26年度に実施して完了しております。また橋梁設計を含めた検討会のスケジュールは、平成27年4月27日に開催した第5回検討会の資料-1「説明資料」

(<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h27/0427/pdfs/1-13.pdf>)をご確認下さい。なお、渡河橋の橋梁設計の詳細は平成27年4月27日に開催した第5回検討会

(<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h27/0427/>)で報告しておりますので、こちらもご確認下さい。

---

○質問－3

先行事例として、しらさぎ大橋ではエリアを4つに分けていたのを、河口干潟をひとつにしてしまっていますが、どういう理由ですか？

◆回答－3

鳥類調査は、平成26年8月27日に開催した第4回検討会にて承認された環境モニタリング調査計画 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0827/pdfs/2-05.pdf>) に基づいて実施しております。計画当初は、先行事例である阿波しらさぎ大橋整備事業を踏襲し、エリア1～4に区分してデータ整理する計画としておりましたが、委員のご意見に基づいて、平成27年2月24日に開

催した第5回環境部会 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h27/0224/pdfs/1-06.pdf>) で生息状況調査のまとめ方を変更しております。

-----

○質問－4

橋脚をつくる時のしゅんせつ場所と、その環境調査結果は、どこにでていますか？

◆回答－4

橋脚を整備する際の浚渫箇所は、平成25年10月29日に開催した第1回橋梁部会 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h25/1029/pdfs/02-4.pdf>) にて報告しておりますので、ご確認下さい。その後、平成26年10月に実施した地形調査の結果に基づき、橋梁設計に合わせて浚渫範囲の検討も進めております。吉野川河口は出水等によって地形が大きく変化する特性を有しており、実際の浚渫範囲に関しては施工段階で浚渫のための測量を行って把握してまいります。

-----

**第6回環境部会では傍聴者の方々から意見・要望を頂きました。**

---

○意見・要望－1

今回、和田先生、桑江先生が欠席されています。お忙しい委員の日程調整は難しいとは云え、橋建設と渡り鳥の影響は、大きな課題になっているのですから鳥専門家の桑江先生が不在であり、直接の意見が公表されることがないのは、残念であり、環境部会の進め方に疑問を持ちます。

◆回答－1

検討会・部会の開催は、あらかじめ各委員の日程を把握し、なるべく多くの委員がご参加いただけるように調整しております。検討会・部会の資料は、事前に各委員に説明し、その中での意見を反映したものを提示しております。

-----

○意見・要望－2

今回コンサルタントのデータ発表会になってしまったのは残念です。(特に鳥に関しては、議論や調査の評価について

◆回答－2

環境モニタリング調査の結果に関しては、吉野川河口の工事前、工事中、工事後の各断面の状態を知るための最も重要な基礎情報であり、また調査量が多いことから説明事項も多くなりますのでご理解下さい。

-----

○意見・要望－3

モニタリング調査 今後が、決定される重要な会議だと思いますが、委員の意見や具体的な議論が少なかったのは、残念です。

◆回答－3

環境モニタリング調査は、工事前の段階から各委員にご意見をいただきながら適切に計画して

おり、工事中の調査に関しても、本部会にて継続実施で承認されております。環境モニタリング調査計画に関する各委員のご意見は、平成 26 年 5 月 22 日に開催された第 3 回環境部会 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0522/>)、平成 26 年 8 月 27 日に開催された第 4 回検討会 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0827/>) をご確認ください。

---

○意見・要望－ 4

渡り鳥は、種によって採餌場所を選ぶので、干潟の環境変化を知り橋建設の保全策を検討するためにはだいたいな指標になります。下流側 3 分割を 1 つにまとめてしまう方法では、うち消してしまうと考えます。橋建設の保全策を検討するためにはこの方法の見直しを！！ また、生のデータは 4 分割でされていると思いますのでデータ公表を整理しなおしてください。

◆回答－ 4

鳥類調査は、平成 26 年 8 月 27 日に開催した第 4 回検討会にて承認された環境モニタリング調査計画 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0827/pdfs/2-05.pdf>) に基づいて実施しております。計画当初は、先行事例である阿波しらさぎ大橋整備事業を踏襲し、エリア 1～4 に区分してデータ整理する計画としておりましたが、委員のご意見に基づいて、平成 27 年 2 月 24 日に開催した第 5 回環境部会 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h27/0224/pdfs/1-06.pdf>) で生息状況調査のまとめ方を変更しております。また、データのまとめ方や公表方法に関しては、引き続き、委員からご指導、ご助言をいただきながら適切に進めていきたいと考えております。

---

○意見・要望－ 5

渡り鳥のデータは春の渡りと調査が重要です。H 2 6 年春の調査を入れて、春のデータは、2 年実施しているのですから公表して、評価してください。

◆回答－ 5

環境モニタリング調査は、平成 26 年 8 月 27 日に開催された第 4 回検討会 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0827/>) で計画が承認され、翌月の平成 26 年 9 月から開始しております。それより以前に実施してきた予備調査に関しては、検討会・部会において各委員のご意見に基づいて検討に必要なデータを公表しておりますので、ご確認ください。

---

○意見・要望－ 6

影響評価は、定期的に確実に実施してください。その際委員の意見、見解は公表すべきだと思います。今の環境部会検討会の進め方、役割を改善するか評価の役割を入れて検討会を見直してください。

◆回答－ 6

事業の影響評価に関しては、引き続き、委員からご指導、ご助言をいただきながら適切に進めていきたいと考えております。

---

○意見・要望－ 7

工事や会議のすすめ方はあまりに独断的です。NEXCO の一方的な説明について「ホームページで公開するからそれを見るようにいうような」

◆回答－ 7

工事並びに検討会・部会の進め方に関しては、引き続き、委員からご指導、ご助言をいただきながら適切に進めていきたいと考えております。

---

○意見・要望－ 8

パブリックコメントを実施してください。

◆回答－ 8

検討会・部会の進め方に関しては、引き続き、委員からご指導、ご助言をいただきながら適切に進めていきたいと考えております。

---

○意見・要望－ 9

国民、県民の財産である吉野川河口の工事に対して、もっとやさしく取りくんでいただきたい。担当者が9月から大きくかわってしまっているようですがひきつぎが円滑におこなわれたのか疑問です。

◆回答－ 9

担当者の変更に伴う引き継ぎは、適切に実施し、事業全体並びに検討会・部会が滞ることなく進めております。

---

○意見・要望－ 10

NEXCOから今後は相談しながらやりたいという答弁は、とてもあいまいです。調査結果もあいまいであり、とりあえず工事しましょうというのは、とても不安です。

◆回答－ 10

検討会・部会の進め方に関しては、引き続き、委員からご指導、ご助言をいただきながら適切に進めていきたいと考えております。

---

○意見・要望－ 11

ゆきあたりばったりで工事だけはじめるのかという不安がおそいます。環境影響や、影響予測の方法や結果が科学的、かつ具体的にまったく明確にされず工事をはじめるのは工事を進める上で考えますというのはひどい話です。

◆回答－ 11

検討会・部会の進め方に関しては、引き続き、委員からご指導、ご助言をいただきながら適切に進めていきたいと考えております。

---

○意見・要望－ 12

海と川の出合う場所、様々な影響の大きな場所 以前に波浪解析をした時の地形データとはちがうので、時間的に解析はむずかしい

◆回答－１２

ご要望の主旨は、波浪解析を現地形に対して実施する必要性に関するものと思われます。波浪解析は、平成 25 年 12 月 10 日に開催した第 2 回環境部会

(<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h25/1210/pdfs/1-03.pdf>) で報告しておりますので、ご確認下さい。

---

○意見・要望－１３

橋脚場所が具体的に示されていない状態があり、変動が大きいので、その時になってみないとわからないというのは、おかしい。

◆回答－１３

橋脚設置に伴う地形への影響は、平成 25 年 12 月 10 日に開催した第 2 回環境部会 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h25/1210/pdfs/1-03.pdf>) で報告しておりますので、ご確認下さい。

---

○意見・要望－１４

本日は後半の委員の議論で重要なご指てきがありました。議事録は、発言のまま、公開してくださった方が内容がよくわかると思います。

◆回答－１４

本検討会の規約 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h25/0822/pdfs/05.pdf>) では、議事内容の情報公開に関して、「議事内容の情報公開は、検討会または部会終了後、事務局が速やかに概要を作成し、出席委員の確認を得た上で、公開する。」としております。

---

○意見・要望－１５

せっかく、先行事例として、しらさぎ大橋の仕組みがあるのですから、その仕組みも学んでください。

◆回答－１５

先行事例である阿波しらさぎ大橋整備事業は、検討会の発足時から十分に参考にしながら事業を進めてまいりました。今後も各課題に対して、引き続き委員からご指導、ご助言をいただくだけでなく、先行事例も参考にしながら、適切に進めていきたいと考えております。

---